

1. 事業名	地域女性活躍推進連携事業								
2. 実施期間	交付決定の日 ~ 令和2年3月31日								
3. 事業の趣旨・目的	○意識改革(性別役割分業の固定的観念の打破) ○地域毎の効果的な施策の実施(都市部及び都市部以外での現状の違い及び意識の差について具体的な把握が必要) ○企業や団体等との連携								
4. 事業内容	①「みやぎの女性活躍促進連携会議」(本体会議・担当国会議)の運営(継続) 県内の経済団体、各種団体、行政等で構成する連携会議において、女性の活躍促進に関する事業について審議や評価を行う。また構成団体内での情報共有・情報交換を行い連携強化につなげるとともに、県内各地での女性活躍関係イベント等への後援を行う。 ②「みやぎの女性活躍促進連携会議」自主事業の実施【新規】 昨年度開催した「WIT2018宮城」を契機として、更なる女性活躍に向けた機運の醸成に取り組むため、「みやぎの女性活躍促進連携会議」の自主事業として位置付け、宮城県独自の事業「いきいき男女共同参画推進事業」と連携し、講演会を開催したもの。 ③「みやぎの女性活躍促進サポーター」研修事業(継続及び新規) 宮城県内のあらゆる地域で女性が活躍しやすい環境の整備を推進することを目的として、地域における普及啓発を担うリーダーを養成するため、当該事業参加者をサポーターとして認定。今年度は、サポーター、みやぎの女性活躍促進拠点づくりモデル事業の受託団体等との交流及び親睦を図るため、交流会を実施した。 ④「みやぎの女性活躍促進拠点づくりモデル事業」(新規1地域) 各地域における女性の就業意欲や性別役割分担意識の把握と分析及び女性の相談ワンストップ機能を兼ねたモデル事業を実施し、その地域の女性活躍の進め方を検証する。また、地域における女性活躍促進を担うNPO等団体の育成を図る。								
5. 事業効果及び効果検証の概要	①「みやぎの女性活躍促進連携会議」(本体会議・担当国会議)の運営(継続) 県内の経済団体・各種団体・行政等が連携することで、県内の女性活躍促進に向けた気運醸成が期待できるとともに、各団体等との情報交換や連携等から、より効果的な事業を行う事ができた。 ②「みやぎの女性活躍促進連携会議」自主事業の実施【新規】 県独自の認証制度「女性のチカラを活かす企業認証制度」における知事表彰と併せて講演会を開催することで、参加者を多く募ることができ、仕事と家庭の両立の観点から、女性活躍の推進や男女共同参画の意識醸成、普及啓発が図られた。 ③「みやぎの女性活躍促進サポーター」研修事業(継続及び新規) 研修会等が盛んに実施されている仙台市以外の地域において、同一内容の研修(3回)を開催したが、開催自治体の地域性や参加者の年齢層を考慮することで、参加者の満足度が非常に高い成果を収めつつ、普及啓発を担うリーダーを養成することができた。また交流会により、サポーター同士やモデル事業受託団体、地域団体・組織等との交流や親睦の支援を行うことで、女性活躍促進の更なる醸成が図られた。 ④「みやぎの女性活躍促進拠点づくりモデル事業」(新規) 各地域での女性の就業意欲や性別役割分担意識の把握と分析、及び女性の相談ワンストップ機能を兼ねたモデル事業を実施し、地域の現状やニーズ等を把握することができた。また、実施市町村のみならず近隣の市町村も含めて連携し、広報を実施することができた。事業実施を委託することによって、地域での女性活躍促進を目的とした団体の育成を図ることができた。								
6. 目標達成度及び達成状況に対する評価	①開催回数3回(本体会議1回、担当国会議2回)女性活躍促進に関する事業についての審議や評価の実施及び構成団体内での情報共有・情報交換を行い連携を図ると共に主催事業以外の県内各地での女性活躍関係イベント等の後援等の支援を行うことができた。 ②実績144名(目標値100名):目標値を大きく上回る参加者に対し講演を行う事ができ、目標は達成された。 ③実績87名(目標値25名):目標値を大きく上回る参加者を参集することができ、目標は達成された。 ④相談件数14件(2地域合計):相談内容により、地域の実情等が把握でき、今後の事業展開に役立てていくことができるとともに、地域の女性活躍促進を目的に活動している団体の育成を図る事ができた。								
7. 今後の課題	都市部以外の地域では、講演会や研修会などの機会が極端に少ない。このため、「女性活躍推進」に関して見聞きする機会が少なく、そのような意識や考え方が全体的に浸透していない状況である。そのため、③の研修会を仙台市以外で実施しているが、前述のような状況もあり毎回参加者の確保が課題となっている。都市圏においては、「女性活躍推進」の理解や活動・取組が浸透しているが、地方においては言葉すら浸透していない現状もあり、今後とも重点的に地方において事業を実施することにより、「女性活躍推進」の裾野を広げていきたい。そのためには、個人や企業団体等の「意識改革」が必須であり、その啓発のためにも継続的な地道な活動が必要である。 ④については、本事業(H29～R1年度)により、県内6地域における、NPO等を活用して各地域の拠点づくりは図られたものと考えられる。今後は、普及啓発を担うサポーターと、各拠点で活動している組織・団体との意見交換・親睦を持つ機会を設け、「女性活躍に関する情報収集と発信機能」や「地域の企業及び団体等との連携、女性グループ等の自主的活動の拠点の形成」に繋がる支援が必要である。								
8. 事業の実施体制	「みやぎの女性活躍促進連携会議」構成団体(15団体):(一社)宮城県経営者協会、(公財)せんだい男女共同参画財団、宮城県町村会、仙台経済同友会、仙台市、NPO法人イコールネット仙台、日本労働組合総連合会宮城県連合会、宮城県漁業協同組合、宮城県商工会議所連合会、宮城県商工会連合会、宮城県中小企業家同友会、宮城県中小企業団体中央会、宮城県農業協同組合中央会、宮城県労働局、宮城県								
9. 経費の内訳	(単位:円)								
事業番号	個別事業名	公募要領の取組例	予算措置年度	交付金 予算年度	総事業費 (A=B+C+D)	本交付金 (B)	他の寄付金等 (C)	自己資金 (D)	備考
①	「みやぎの女性活躍促進連携会議」の運営・自主事業	(1)	31年度当初予算	31年度予算	412,574	206,219	0	206,355	
②	「みやぎの女性活躍促進サポーター」研修事業	(1)	31年度当初予算	31年度予算	2,404,402	1,202,201	0	1,202,201	
③	「みやぎの女性活躍促進拠点づくりモデル事業」	(2)	31年度当初予算	31年度予算	977,160	488,580	0	488,580	
④	女性の活躍促進に向けた取組宣言の実施	(1)					0	0	
	女性人材リストの作成	(1)							
	合計				3,794,136	1,897,000	0	1,897,136	
10. 担当者名及び連絡先	宮城県環境生活部共同参画社会推進課男女共同参画推進班 河内 幸太郎 (TEL022-211-2568)								
11. 事業実施及び連携工程	様式4-1-1に記載								